

## 市役所の「総合調整会議」から ①

4月20日から3日間、市役所において各部局の運営方針と目標、主要事務事業の説明並びに質疑応答が行われました。次に示すのは、学校経営上、参考にしたい内容です。なお、かっこ書きの箇所については、私が学校向けに加筆修正を行いました。



### 1 議会事務局

(学校経営上の)意思決定に至るまでの想定される事項に対して臨機応変に対応できるよう、必要な知識の習得と共有化を図っていく。

### 2 企画部

これまでの慣例や慣習にとらわれない柔軟な発想で(学校経営)に取り組むとともに、限られた人員で効率的かつ質の高い(教育)を将来にわたり安定的に提供できるよう(にする。)

### 3 総務部

多様化・複雑化する市民ニーズや喫緊の(教育)課題に対しては、

- 先送りせずに果敢にチャレンジすること。
- より質の高い(教育)を提供できるようスキルアップに取り組むこと。

### 4 市民部

笑顔、挨拶、親切、丁寧 (子ども、保護者、地域住民)

### 5 産業環境部

社会経済情勢の変化、地球温暖化の進行、資源循環型社会の構築など、喫緊の課題に適時的確に対応するためにも、不断の情報収集に努め、実効的な(SDGs等に係る指導を進める。)

(次号に続く)

## かけ算

日本山岳会会長 西堀栄三郎

同じ性格の者が3人団結しても、それは和に過ぎないが、それぞれに違う性格の者が団結した場合には積の形で大きな力になる。つまり、かけ算になる。

出典：竹内均編「成功への名語録 366日」(講談社α文庫)

※ かけ算を可能にするもの、それは目標への意思の統合とコミュニケーションです。